



小美玉
シテイ
ダイヤモンド
見つける。
みがく。
光をあてる。

もっと小美玉を語りたくなるマガジン

広報
おみたま

第233号

2025年
令和7年

8

contents

[特集] あの記憶を語り継ぐ	2-7
わだい	8-10
TOPICS	11-14
四季の歌	15
4コマ小美玉暮らし	16



戦後
80
年
あの記憶を語り継ぐ



20th anniversary
小美玉市

市制施行**20**周年



戦後80年 あの記憶を語り継ぐ

8月15日は「終戦の日」です。1941年12月から約3年7か月に渡り続いた太平洋戦争。日本人だけで死者310万人（日中戦争含む）もの大きな犠牲を払って、80年前のこの日、戦争終結が宣言されました。

毎年8月には戦争をテーマにした報道や展示会などが盛んに行われます。しかし、戦後80年が経ち戦争を知る世代が少なくなるにつれて、戦争の記憶を伝えることが難しくなっています。小美玉

戦争を知る世代は人口の1割に。 課題となる記憶の継承

市内を見ても、戦争を体験した世代の人口は全体の1割にまで減少し、体験者本人から直に話を聞ける機会が失われています。

そんな中、市内では、中学生が戦争体験談の朗読に挑戦する取り組みや、戦争に関する展示会が開催されます。戦争を知る世代から、知らない世代へ。悲惨な戦争を繰り返さないために、今を生きる私たちにできることは何か。今こそ、平和について考えてみませんか。

私たちは若者が生まれつき与えられている平和。それは、戦争を知る世代から知らない世代に贈られたプレゼントなのだ。

川村映さん（当時中学3年生） 小美玉市での戦争講演会の感想より

今月の表紙



80年前の出来事を語る立村薫さん(95歳)と、戦争体験談の朗読に挑戦する中学生の様子を撮影しました。

立村さんは、役場職員として戦時中を過ごしました。「もっと大変な思いをした人がたくさんいました」と前置きしたうえで、ご自身の体験談を語ってくださいました。

→立村さんの記事は4ページへ

戦争を生き抜いた人に学んだ「生きる力」

私たちが戦争の記憶を伝える活動を始めたのは、羽鳥にお住まいだった助産師・坂本きよさんとの出会いがきっかけでした。「戦時中、中国の青島に行っていたのよ」という言葉に驚き、当時のことを詳しく聞き取りました。その話を元に「こぶけやきがないてい」という音楽劇を作り、みのりれで上演したのが活動の始まりです。



中学生の朗読指導を担当

こぶけやきの会
のどとしえ
野手 利江さん(左)
やまもと かずえ
山本 一恵さん(右)

8月10日に本番！
戦争体験講演会で
練習成果を発表

日時 8月10日(日)
13:00~16:30(受付12:30~)

参加無料・申込不要

会場 生涯学習センターコスモス
玉里文化ホール

小美玉市高崎291-3 ☎0299-26-9111

昭和21年、戦地から3年ぶりの我が家へ。
涙がどっとあふれました。両親を見て泣
いたのではないです。真っ先に目に入っ
たのは兄貴の写真と位牌。あんなに頭がよ
く、体力もあり、おれの誇りだった兄貴。
その兄貴のほうが先に死んでいたなんて。
オイオイと男泣きに泣きました。

やまもと ひさお
山本久夫さんの戦争体験談より



美野里中学校 2年
つれかわ りん
連川 凜さん

連川さんの感想：以前、中学校に戦争体験の語
り部の方が来てくれたことがあり、自分もやって
みたいと思いました。学校や本、実際の体験談
を通して学んだ、自分が感じた「戦争」を、朗読
を通して伝えられるよう頑張りたいです。



ニューギニアに向かう海上でアメリカ
の攻撃を受け船が沈没し、3日間漂
流しました。攻撃のたびに海の中にも
ぐり何とかよけましたが、周りの友は
ふやけて死んでいきました。あなたな
ら、海に投げ出されて何時間生き延
びられますか？それが戦争です。

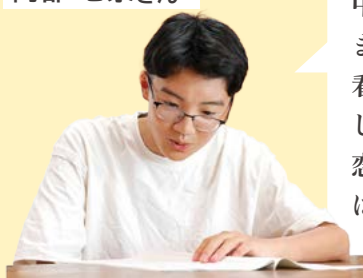
おざわ いちたろう
小沢市太郎さんの戦争体験談より

鳥羽田さんの感想：戦争のことは、本や映画を見て知っていました。みんな
の前で朗読することは貴重な機会だと思い、参加することにしました。小沢
さんが海の中で3日間も生き延びられたのがすごいと思いました。



美野里中学校 2年
とりはた ゆうしん
鳥羽田 優心さん

美野里中学校 2年
あべ ななみ
阿部 七泉さん



19歳で従軍看護婦として海を渡り、
中国の青島にあった陸軍病院で働き
ました。負傷した兵隊さんたちから、
看護婦は「お母さん」と呼ばれていま
した。亡くなる前、本当のお母さんを
恋しがる兵隊さんたちを見ているの
は、仕事以上にきついことでした。

さかもと
坂本きよさんの戦争体験談より

阿部さんの感想：昔、日本でも戦争があったことは知っていましたが、当時
の人の話を聞く機会はありませんでした。戦後、助産師になった坂本さんの
話を読んでみて、子どもを産むことはとても大変なことなのだと知りました。



生涯学習センターコスモスで開催
された第3回戦争体験講演会で、
坂本きよさんの体験談を朗読す
る、野手さんと山本さん。

今回、市内の中学生が体験談の朗読
に挑戦してくれてうれしいです。現代
と80年前とは時代背景が全く違い、
想像しにくいことも多いでしょうが、
それぞれが素直に読んで、自分なりに
感じてくれればいいなと思います。

戦後70年の年には、当時102歳
だった河原井卓さん(水戸市)の講演
会を空のえき「そ・ら・ら」で開催しま
した。月2回の講演を半年間続け、河
原井さんが戦地で体験したことを多く
の方に聞いていただきました。以来、
コスモスで開催される戦争体験講演会
のお手伝いもしています。

これまでたくさんの方から当時の貴
重な話を聞くことができました。皆さ
ん、生きるか死ぬかの瀬戸際で生き
残った方です。過酷な戦争を経験した
方々からは、人としての「芯の強さ」
を感じます。その強さはどこから来る
のか知りたい、学びたいと思って、い
つもお話を聞いています。自分の人生
を力強く生きるヒントになるのではと
思っています。

戦後80年
あの記憶を
語り継ぐ

あの戦争を 生きた私

太平洋戦争の最中、10代で役場職員になった立村薫さん。私たちが暮らす小美玉市が、戦時中の80年前はどのような状況だったのか、穏やかな声で体験談を語ってくださいました。

たちむら かおる
立村 薫さん (95歳)

昭和5年生まれ。10歳のとき、東京から家族で橘村羽木上に移り、13歳から19歳まで役場職員として勤務。現在は長男夫婦との3人暮らし。

空襲を知らせる半鐘を 懸命に叩いた

昭和18(1943)年、橘国民学校高等科を卒業して、13歳で橘村役場に就職しました。窓口勤務でしたが、空襲があると警報機に登って半鐘を叩く役割にもなりました。当時の櫓は木製のはしごを真っ直ぐに立てたような代物で、横棒を手と足でよじ登っていきます。今考えるとよくそんなことができたものだと思います。

数えきれないほど櫓に登りましたが、本当に恐ろしい思いもしました。私が半鐘を叩いていると、警戒警報が空襲警報に変わってしまい、米軍のグラマン機が飛んできたのです。それも間近に、操縦する米軍兵士の顔がよく見えました。そしてこちら目がけて機銃掃射してきたのです。地上から「伏せろー」と大声がして、必死で櫓の上で身をかがめました。機銃弾が櫓の柱にすごい音を立てて当たりました。ピシュツ、ピシュツという音です。今でも忘れられません。

私の5歳上の兄は、青年学校に通い軍事教練を受けていましたか

ら、すっかり軍国少年になっていました。身体が丈夫で、地域の相撲大会で優勝するような人でした。18歳のとき、親の反対を押し切って陸軍に志願し、水戸三十七部隊に入りました。その後、兄はマライ・タイ・ビルマと転戦し、昭和20年2月にビルマで戦死しました。水戸の原隊に残していた爪と髪の毛だけが戻ってきました。

戦争下の青春

すべてが戦争一色の時代でした。大阪から派遣された橘部隊が橘国民学校(旧橘小学校)に来て、校舎の半分を使っていました。全村民の血液検査をするため、軍医と一緒に村内を回ったこともあります。

役場の仕事に使う物も不足していました。区長さんに手紙を出そうにも封筒が無くなってしまう、自分たちで作りました。自転車を手紙の配達に出かけ、自転車も壊れては自分で直すということもありました。今振り返ると、



立村さんが登った木製の櫓とは別物だが、同時期に百里原海軍航空隊にあったとされる監視塔。当時の銃撃の跡が今も残っている。➡詳細は6ページを参照

物が無いながらに工夫して楽しくやっていたと思います。本当に大変な思いもしましたが、それでも、役場や村内の人たちが優しく接してくれたことを覚えています。今の方々の青春とは質が違ってしまうけれど、私の青春も楽しかったと言いたいです。

若い皆さんに伝えたい

戦争はもうまっぴらです。いいこととは何もありません。ドラマで映る戦争の悲惨な光景は、実際にあったことです。戦争は絶対にやらない。若い皆さんには、その気持ちを持つていただきたいです。選挙で投票するのも大切です。よく見極めて、平和を守り続けてほしいです。



小美玉市の
歴史を知らう

75 1945年

ひゃくりがはら 百里原海軍航空隊への攻撃

— 文字と資料が語る戦争 —

今年は太平洋戦争終結から80年となります。現在の茨城空港北側にはかつて、百里原海軍航空隊の飛行場がありました。太平洋戦争末期、米軍は日本の主要都市や軍事施設などを攻撃目標とし、リスト化と綿密な作戦準備の後、攻撃を行いました。

1945年7月10日の航空機戦闘報告書

百里原海軍航空隊も米軍の攻撃目標の対象でした。航空機戦闘報告書には、百里原海軍航空隊を攻撃した記録が1945年2月16日から8月15日まで31件あります。日付別で件数が最も多い7月10日の報告書から、米軍が掩体壕地域と飛行機を攻撃した記録を紹介します。

「3機の飛行機からなる1個分隊は飛行場の北端にある小さな掩体壕地域を攻撃し、2回目の攻撃は飛行場の真南にある掩体壕地域を、3回目は地上の航空機が最も集まる南東の領域に爆撃機が爆弾を投下した。これら地域では朝に急降下爆撃機が攻撃、9機を破壊し、少なくとも2機が損傷した。(後略)」(航空機戦闘報告書 No.65より)



爆弾破片(第13号掩体壕第1号遺構出土)

また、1878(明治11)年生まれの方が書いた7月10日の日記には「午前6時頃より敵機来襲(中略)午後2時過ぎより5時半まで引き続き来襲(後略)」とあります。米軍による攻撃が早朝から夕方まで一日通して行われたことがうかがえます。

掩体壕発掘調査出土品

米軍による攻撃の痕跡は、文字資料だけでなく出土品からも見ることが出来ます。2007(平成19)年、旧百里原海軍飛行場第12・13号掩体壕の発掘調査が行われました。このうち第13号掩体壕では、飛行機の格納部に爆弾の着弾痕とみられる大規模な土坑が確認され、爆弾の破片と見られる鉄片も出土しました。

また、第12号掩体壕と比べて機銃弾や飛行機の部品類も多く出土しています。これらから、米軍が掩体壕内に駐機する飛行機を把握し、攻撃したことがうかがえます。

戦後80年が経過し当時の様子を見聞きた世代が少なくなっていく中で、文字資料や出土品といったモノ資料は、小美玉市域にも戦争があった歴史を伝える「語り部」ともいえるでしょう。

(小川資料館
和久法子)



第13号掩体壕格納部に開いた爆撃痕



破裂した7.7ミリ機銃弾の薬莖(第13号掩体壕第1号遺構出土)

撃に関する情報など13の項目からなる。

【掩体壕】

飛行機を敵機の攻撃から守るために造られた格納施設。百里原海軍航空隊の掩体壕は全て無蓋(土盛り)のもの。

【土坑】

発掘調査などで確認される遺構のうち、ある程度の大きさや深さをもった掘り込みのこと。

語句解説

【百里原海軍航空隊】

1939(昭和14)年、筑波海軍航空隊の分遣隊から独立して開隊。当初は陸上機の初歩飛行訓練に従事したが、1943(昭和18)年から艦爆・艦攻の実用機教程を追加し、大戦末期には特攻隊も編成された。

【航空機戦闘報告書】

米軍の飛行隊が個々の作戦任務ごとに作成した報告書。米軍機・敵機の情報、攻撃

見る・知る

小川資料館テーマ展

Targets at the HYAKURIGAHARA

ターゲット・アット・ザ・百里原 —戦争の攻防のはざまで—

8月9日(土)～9月28日(日)

休館日は月曜日(8月11日、9月15日は開館)、8月12日(火)、9月2日(火)、16日(火)

開館時間 9:30～18:00

8月11日、13～15日、9月15日、23日は17:00閉館

開催期間

会場

小川資料館(小川図書館2階)

小美玉市小川1664-2 ☎0299-58-5828

かつて市内にあった百里原海軍航空隊は、昭和20年2月～8月にかけてたびたび米軍の攻撃を受けました。機銃掃射や爆弾、ロケット弾により、施設内だけでなく周辺地域にも被害が出ました。

終戦から80年目を迎え、戦争を経験した世代が少なくなる中で、戦争を知り、考えるきっかけの一つとしてテーマ展を開催します。米軍の記録や、掩体壕発掘調査の出土品、防空風の巻取り機などの実物資料と写真から、百里原海軍航空隊への攻撃と防衛の実態に迫ります。



小川資料館職員
わく のりこ
和久 法子さん

8月に子どもと訪りたい

平和を考える おでかけスポット

展示会

期間限定

戦争関係展示会

- ① 8月1日(金)～8月31日(日) 9:00～22:00
- ② 月曜日、12日(13日～15日は17:00まで)
- ③ 生涯学習センターコスモス 展示ホール(高崎291-3)
- ④ ￥ 無料
- ⑤ 0299-26-9111

小川資料館テーマ展

Targets at the HYAKURIGAHARA

→開催情報は5ページ下を参照

市内の遺構

実物が 見られる

田木谷地内の火の見櫓



- ① 国道355号田木谷
交差点の近く

戦時中、百里原海軍航空隊の敷地内で監視塔として使われ、戦後、現在地へ移築されたと伝わります。鉄骨部分をよく見ると、弾痕が数多く残っており(→4ページの右下写真)、かつての戦争の記憶を今に伝えます。

旧百里原海軍航空隊正門跡



- ① 大和田羽生線山野
交差点の脇

百里原海軍航空隊の正門の門柱の一部が残っています。昭和13(1938)年に筑波海軍航空隊百里原分遣隊として開隊し、飛行練習生の教育が行われていました。

→詳細は5ページのコラムを参照

戦後80年の節目を迎える今年は、メディアの特集や展示会などが企画され、記録や実物を通して戦争と平和について学ぶことができます。この機会に、市内の展示会や戦争遺構、県内にある記念館などに足を運んでみてはいかがでしょうか。

県内の記念館

近隣の 戦争遺構

筑波海軍航空隊記念館



提供:筑波海軍航空隊記念館

筑波海軍航空隊の跡地を活用し、同隊と戦争に関する記録の収集・保存・公開を行う記念館。司令部庁舎を始め、多くの史跡が当時の面影を残したまま現存している。

- ① 9:00～17:00(入館は16:00まで)
- ② 毎週火曜日(祝日の場合は翌日休館)、
年末年始(12/29～1/3)
- ③ 笠間市旭町654
- ④ ￥ 大人(18歳以上) 500円
小学生以上 400円(ワークシート付き)
- ⑤ 0296-73-5777

詳しくはこちら▼



予科練平和記念館



予科練の歴史や阿見町の戦史の記録を保存・展示するとともに、次の世代に正確に伝承し、命の尊さや平和の大切さを考えることを目的に開設された記念館。

- ① 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- ② 毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)、
年末年始(12/29～1/3)
- ③ 稲敷郡阿見町廻戸5-1
- ④ ￥ 大人 500円(400円)
小中高生 300円(240円)
※()は団体割引料金(20人以上)
- ⑤ 029-891-3344

詳しくはこちら▼



※9/6～来年1/31
まで、改修工事の
ため臨時休館



かずや
さん

銚田で「特攻の母」と呼ばれた元教師、山崎泰子さん(旧姓:塙)から当時の話を聞きました。戦時中、特攻隊員として出撃間近だった山崎浩さんと結婚の約束をした泰子さんは、間もなく命を落とすかもしれない特攻隊員のため、銚田陸軍飛行学校の部隊長に直訴して宴を催しました。そのとき、憲兵に見とがめられながらも、泰子さんは浩さんに「必ず帰ってきて」とラブレターを渡したそうです。その後、部隊は生還し泰子さんは浩さんと結婚することができました。泰子さんは96歳で亡くなりましたが、私にとって泰子さんは感動と感激のある人生を身をもって教えてくれた先生でした。

あなたも「80年前の記憶」を残してみませんか?
家族や周りの人に聞いた話をメモしよう

.....

.....

.....

.....

.....



太平洋戦争の体験を伝える会

会長 東野 一也さん

銚田市在住。今年3月に会長となり、8月の講演会に向け準備を進めている。



太平洋戦争の体験を伝える会

2015年、太平洋戦争終結70年の節目の年に市内在住の戦争体験者、山口利雄さん、三橋利雄さんにより発足。「戦争の悲惨さを後世に伝えたい」との思いから、戦争体験者が当時の体験を語る講演会を定期的で開催してきました。設立者のお二人が亡くなった今も、その意思を受け継いで活動を続けています。



第1回戦争体験講演会

第9回戦争体験講演会を8月10日(日)に開催。3名の戦争体験者による体験談と、中学生による戦争体験談の朗読を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えます。

→開催情報は3ページへ

今を生きる 私たちにできること

戦後80年

あの記憶を語り継ぐ

遠い昔となりつつある戦争の記憶。当時の出来事を戦争体験者に語ってもらう活動をしてきた「太平洋戦争の体験を伝える会」の東野会長に、記憶を語り継ぐ意義と今を生きる私たちにできることを伺いました。

『平和は当たり前ではない。だからこそ、助け合うことが大事』

当会は、玉里地区に住んでいた山口さんと三橋さんの二人が90歳を過ぎてから立ち上げた会です。戦時中、山口さんは特攻隊員でしたが、直前に盲腸にかかり出撃を免れ、生き残りました。三橋さんは陸軍二等兵として千葉で塹壕掘りをしていました。戦後長らく、当時の体験を語ることはなかったのですが、戦後70年が経過し戦争体験者が少なくなる中で「経験を後世に伝えなくては」と思ったそうです。二人にとって会の活動は「お茶飲み」の延長でした。よく集まっては、戦時中の話や農業、地域の歴史の話などをたくさん教えてくれました。講演会も規模の大きな「お茶飲み」だったのでしょう。知り合いなどに声を掛け、10年間で40人近い方に戦争体験を語ってもらいました。毎回、集まった講演者や聴衆と当時の体験を

共有できて、二人も喜んでいました。「俺ら、今が青春だよ!」という言葉が印象に残っています。

山口さんと三橋さん、そして過去の講演者の多くも故人となりました。戦後80年となり、今ある平和がどうできたのかを伝えることの難しさを感じます。私も戦争の話に関心を持ったのは、ご本人の体験談を聞くようになってからです。山口さんと三橋さんから「平和は当たり前ではない」ということを教えてもらいました。平和を守っていくにはささいなことでもケンカや争いをしないこと、周りの人と助け合っていくことが大事だと思います。二人の意思を継いで、戦争の悲惨さと平和を守ることの大切さを伝えていきたいです。自分がいなくなった後も、次の時代を生きる人たちに伝え続けてほしいと思います。

私が聞いた 80年前の記憶

広報おみたま7月号で募集した「戦時中の記憶」をご紹介します。

あなたも「80年前の記憶」を投稿してみませんか？
8月25日まで募集中です▶



みのりんさん

父は長野の貧しい家の次男として生まれ、満蒙開拓青少年義勇軍内原訓練所で学び、満州開拓団に夢を抱きました。しかし、満州では襲撃や飢えに苦しみ、肺病で帰国。ソ連の侵攻で再び満州へは戻れなくなり、自責の念にかられていました。戦後も茨城で開拓に尽力し、苦労に苦労を重ねた父でした。満州での経験を滅多に語ることはしませんでした。60歳で亡くなるまで「夢と現実の違い」「途中で帰って来てしまった自分は非国民だ」と言っていました。内原での「教え」が常に父の頭にあり、その言葉となったのでしょうか。父の青春は戦争によって消されたのだと、戦争は地獄だと、思います。

社会を明るくする運動 内閣総理大臣のメッセージ伝達式が行われました

法務省が提唱する「社会を明るくする運動(社明運動)」は昭和26年から始まり、毎年7月を運動の強化月間と位置づけて活動を続けています。強化月間に先立ち、小美玉市保護司会の菊池 広己 会長(写真左から3番目)が市役所を訪れ、内閣総理大臣からの運動への協力と呼びかけるメッセージを市長に伝達しました。

■社会を明るくする運動とは

すべての国民が犯罪・非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて明るい地域社会を築くための全国的な運動です。



問 社会福祉課 社会福祉係
☎ 0299-48-1111 (内線 3225)

市内シルバーリハビリ体操指導士が県知事賞を受賞

長年にわたり市民の健康づくりや介護予防の推進に貢献したシルバーリハビリ体操指導士に、県から感謝状が贈呈されました。小美玉市では8名が茨城県知事賞、1名が奨励賞をそれぞれ受賞しました。

知事賞を受賞した舘川 岩夫さん(写真前段左から2番目)は、「超高齢化社会を迎えた今、介護予防のためにも、体操の普及がより必要となります。地域の方々と身近なところで健康長寿に貢献できるよう、『世のため・人のため・自分のため』精神を大切に楽しく続けていきたいと思います」と喜びの言葉を語りました。

問 介護福祉課 高齢福祉係
☎ 0299-48-1111 (内線 3111)



感謝状授与式に出席した皆さん

■シルバーリハビリ体操指導士 3級養成講習会
受講生募集の詳細はお知らせ版9月号に掲載予定です。

詳しくはこちら ▶

ID 010443





棚一枚でもお気軽にどうぞ!

株式会社 笹光建設

〒311-3416 茨城県小美玉市与沢253-37
TEL 0299-54-0618 FAX 0299-54-0421
www.sasamitsu.co.jp/

新築/増改築/小さなリフォームなど

相続

遺言

不動産の名義変更

抵当権の抹消

相談料 は頂いておりません

司法書士 市ノ澤事務所

☎ 0299-56-4333

茨城県石岡市鹿の子4丁目5番1号
茨城司法書士会所属 司法書士 市ノ澤 創



株式会社山長^{やまちょう}が消毒用アルコールジェルを寄贈

株式会社山長^{ながさわ まさる}(長澤 守 代表取締役:写真左から2番目)より、市内の感染対策などに役立ててほしいと、消毒用アルコールジェル2万本を寄贈いただきました。

寄贈された消毒用アルコールジェルは、市内の公共施設や教育機関に配布し、市民の健康を守るために活用します。

問 秘書課 秘書広聴係

☎ 0299-48-1111 (内線 1202)



市内の理容室21店舗を クーリングシェルターに指定しました

7月3日、市は茨城県理容生活衛生同業組合銚田支部、石岡支部と「指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)に係る協定」を締結しました。本協定は、熱中症リスクを軽減し、市民の命と健康を守ることを目的に、熱中症特別警戒アラートの発表時に、同意のあった店舗を「クーリングシェルター」として一般開放するものです。また、熱中症対策として、やむを得ず暑さを避けなければならない場合にも利用できます。

今後も地域連携を図りながら、市民の皆さまの健康支援を行っていきます。

問 健康増進課 健康支援係

☎ 0299-48-0221 (内線 4004)



(左から) 石岡支部 中嶋支部長、深谷副市長、銚田支部 小野瀬支部長

指定店舗一覧はこちら ▶

ID 011619



塗り替え・外装リフォーム専門店

外装ショールーム OPEN!

地域密着!!
地元を支えられ
創業 **45年**

石岡市の
塗装屋さん (有)中嶋塗装工業

石岡本社 石岡市平ノ木14159-5 ☎ 0299-57-1641 住宅診断・お見積り **無料**
小美玉ショールーム 小美玉市羽鳥2727-11 ☎ 0299-57-2485 中嶋塗装工業 🔍 検索

求人募集や
新規開拓に! **ポスティング**

低コスト	幅広い年齢層へ	配布が早い
✓ 1枚8円から ✓ 最低配布数なしで 1枚から頼める!	✓ 折込広告やSNSでは 届かない年齢層にも ✓ 紙だから保管される	✓ 1週間で1000枚 ✓ 地域限定だから早い ✓ 伝えたい人に早く届く

株式会社モアパワー 相談 **無料** ☎ 080-1135-5898
小美玉市羽鳥2850-113 5:00~22:00 担当 たのうえ

茨城トヨペット株式会社があじさいの苗木を寄贈

6月8日にやすらぎの里小川で開催された第16回やすらぎ里まつりで、茨城トヨペット株式会社（幡谷 俊一郎 代表取締役社長：写真左）から、あじさいの苗木200株が寄贈され、植樹式が行われました。あじさいの植樹は、茨城トヨペットが推進する「グリーンキャンペーン事業」の一環として行われ、当日はやすらぎの里小川敷地内の「いこいの森」エリアに、来場者が寄贈された苗木を1株ずつ丁寧に植樹しました。

問 やすらぎの里小川 ☎ 0299-58-4580



こども家庭センター装飾一新！気軽に集まれる場所へ！

小川保健相談センター内の「こども家庭センター」では施設内のイメージを変えていくために装飾や空間づくりを見直しました。親子が気軽に集い、相談できる場所づくりを進めており、玄関ホールには季節ごとの楽しみを取り入れた「ウェルカム壁飾り」を制作しました。訪れた方からは好評で「明るくなったね」、「子どもが喜ぶね」といった声があがっています。8月は夏祭りをイメージした飾りつけでお迎えしますので、気軽にお立ち寄りください。

詳しくはこちら ▶

ID 010503



問 こども家庭センター 母子保健係

☎ 0299-56-7720



玄関ホール「ウェルカム壁飾り」



職員の寄付で集まったぬいぐるみたちがお待ちしています！

県西エリア不動産専門店

中古住宅 **売却相談** **無料査定**
そのまま **買います!!** **片付け不要**

あきやの未来
株式会社レステコホーム 桜川店 桜川市鍛田 441
TEL.0296-71-5369
※どんなに古い空家でもご相談ください。

茨城県指定 児童発達支援・放課後等デイサービス

小美玉市の児童発達支援センター **OPEN!**

こどもサークル 小美玉つながり園

保護者も参加できるイベントを開催しています

例えばこんなことが気になったら...

- ✓ 発音が不明瞭
- ✓ 動きがぎこちない
- ✓ 落ち着きがなく、集中して遊べない
- ✓ 名前を呼んでも振り向かない
- ✓ 細かい作業・全身を動かすことが苦手

with 日本体育大学 親子体操教室

with 鳥取大学 サッカー教室

with 鳥取大学 ベアレントカフェ

with 筑波大学 子育て相談会

with ユニバーサル野球大会 ユニバーサル野球大会

こどもサークルHPはこちら！

第16回やすらぎ里まつりが開催されました



1 あじさいの苗木を植樹する来場者



2



3

1 あじさいの苗木を植樹する来場者 2 開会セレモニーでの塚田会長のあいさつ 3 粋州囃子連によるお囃子の様子

6月8日に、やすらぎの里小川で市制施行20周年・やすらぎの里小川開館30周年を記念し、第16回やすらぎ里まつりが開催されました。ステージイベントでは粋州囃子連によるお囃子やよさこいソーランの演舞が会場を盛り上げました。また、あじさいの植樹会が行われ、茨城トヨペットから寄贈されたあじさいの苗木を来場者が想いを込めて植樹しました。そのほか、はたおり体験、茶道体験、弓道体験、うちわづくり体験など、来場者はさまざまな体験をして楽しみました。イベントを主催したやすらぎの里小川サポーターズの塚田 文江 会長は開会セレモニーで「やすらぎの里小川は、各種団体などが利用する施設のほか、広大な敷地に咲くあじさいをはじめとする四季折々の草花を一年を通して楽しめる施設です。今回のイベントをきっかけに、二度、三度と足を運んで、やすらぎの里小川を楽しんでほしい」と施設の魅力を語りました。



うちわづくり体験の様子



茶道体験の様子

問 やすらぎの里小川 ☎ 0299-58-4580

うちの子「結婚」しないのかしら？

独身のお子様の結婚相談承ります



お子様の結婚に関するお悩み、
プロの仲人がお答えします。

まずはお気軽に仲人にご相談下さい

☎ 029-835-3751

結婚相談所ムスベル

まとめ
お届け

配達料無料!!

お弁当お届けします!

おかずのみ
540円~

けんたくん

健康管理食
宅配サービス

石岡店 ☎ 0299-56-3008

来年の新入学児童にプレゼント ランドセル展示会を開催しました

7月5日～6日に、美野里公民館で、来年の新入学児童に贈呈するランドセルの展示会を行いました。展示会に訪れた子どもたちは、実際にランドセルに触れたり、背負ったりしながら、どの色にするかを家族と笑顔で話し合っていました。保護者からは「写真だけでは子どもがどの色にするか迷っていたが、ランドセルの実物を見て、決めることができ安心した」といった声があがりました。

▶会場に用意した6色のランドセル



詳しくはこちら ▶

ID 011607



問 生涯学習課 生涯学習係

☎ 0299-48-1111 (内線 2263)



県立中央高校が市内で「歩く会」を開催 高校生が地元の魅力を再発見



6月6日、中央高等学校の生徒約570人が、歩く会で小美玉市内を散策しました。これまで実施してきた愛宕山コースから、今年度は茨城空港コースへと変更し、「地元小美玉を五感で感じ、魅力を発見、再確認する」というテーマのもと、約15kmの道のりを約4時間かけて完歩しました。

学校を出発し、茨城空港へ向かう途中、路上に落ちているペットボトルや缶などを分別しながら、ごみ収集を行いました。また、ゴール地点では小美玉ふるさと食品公社の飲むヨーグルトで乾杯するなど、地元の魅力を再確認しました。

ごみ拾いをした3年生の女子生徒は「普段から通る道に多くのごみが落ちていてびっくりした」と感想を語っていました。学校側は「歩くだけでなく、ごみ拾いをすることで、生徒がより地域を知る機会になった。生徒たちには、地元企業、区長や市など、温かく見守っていただいた方への感謝の気持ちを持って生活してもらいたい」と語りました。

問 魅力発信課 シティプロモーション係

☎ 0299-48-1111 (内線 1253)

栄養士 コラム

災害時の食料を備えていますか？



■非常時に備えた食料品の備蓄を

災害発生時には、ライフライン復旧までに1週間以上かかるケースが多く見られます。いつ起きてもおかしくない災害を日頃から意識し、非常時のために食料品を備蓄しておきましょう。

■家庭での1週間分の備蓄例(大人1人分)

▶必需品

- ・水 2L×6本×2箱(24L分)
※1日3L程度(飲料水+調理用水)
※お好みのお茶や清涼飲料水などがあると便利
- ・カセットコンロ
- ・カセットボンベ 6本

▶主食(エネルギー・炭水化物の補給)

- ・米 2kg×1袋
- ・カップ麺 3個
- ・パックご飯 3個
- ・乾麺(そば・うどん・そうめん・パスタ)
そうめん 1袋(300g)
パスタ 1袋(600g)
- ・その他(シリアルなど) 適量

▶主菜(たんぱく質の確保)

- ・レトルト食品
牛丼の素、カレーなど 9個
- ・パスタソース 3個
- ・お好みの缶詰 9缶

▶副菜・その他 適量

- ・日持ちする野菜(玉ねぎ、じゃがいもなど)
- ・野菜ジュース、果実ジュースなど
- ・梅干し、のり、乾燥わかめなど
- ・調味料(塩、砂糖、しょうゆ、めんつゆなど)
- ・インスタントみそ汁や即席スープ
- ・チョコレートやビスケットなどの菓子類

※高齢者、乳幼児、慢性疾患の方、介護を要する方、食物アレルギーの方などへ配慮した食品は別途準備しましょう。

参考：農林水産省

■普段からかんたん備蓄を実践しよう

いざというときに、備蓄食品が口に合わない、作り方が分からないなど戸惑わないように、普段使いでかんたん備蓄を試してみましょう。

▶かんたん備蓄の3つのコツ

- ①普段食べている食材を多めに買って、食べる
- ②普段の食事で食べる
- ③買い足して補充する

過去の栄養士コラムはこちら▶

ID 005835



問 健康増進課 健康支援係

☎ 0299-48-0221 (内線 4003)

高品質性能

大貫工務店は、間もなく創業100周年を迎えます。長い年月の中で培われた技術力・技能力・機動力を活かし、高性能な住まいをご提案します。



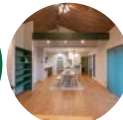
断熱等級
6
相当

耐震等級
3
相当

BEI値
0.8
以下相当

Ua値
0.46
以下相当

C値
0.5
以下相当



大貫ハウスHP



【笠原展示場】

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町1157番4
TEL: 029-353-6740 FAX: 029-353-6741

【学園の森展示場】

〒305-0816 茨城県つくば市学園の森1丁目37-1
TEL: 029-875-8237 FAX: 029-875-8238





学校紹介

竹原小学校

学校教育目標：

自ら学び自ら考え 心豊かに人と関わる
ことのできる たくましい児童の育成



1 縦割り班(キッズグループ)での稲刈り



2 あいさつ運動



3 タブレットを活用した学習の様子

❏ 紹介します！わたしの学校



代表委員 6年
あおき いちこ
青木 以ち子 さん

竹原小学校は歴史ある自然豊かな学校で、みんなが校舎を大切に使っている、とてもきれいです。一人ひとりが個性を発揮し、明るく楽しい学校生活を送っています。また、学校行事が充実していて、ICTを活用した学習も進んでいます。登下校時は、地域の方々の見守りで、安全に通学ができています。代表委員会では今年、「あいさつポイントカード」を活用したあいさつ運動を行います。元気な声で、相手の目を見てあいさつができれば、スタンプを押すという取り組みで、楽しみながらあいさつができるようになることを目指しています。

☎ 教育指導課 指導係 ☎ 0299-48-1111 (内線 2232)

❏ 児童の自己肯定感を高める



教諭
うちおけ かずお
内桶 一雄 さん

本校は、全校児童189名、各学年1クラスの小さな学校で、1～6年生のみんなが楽しく学校生活を送っています。休み時間には、学年を超えて遊ぶ姿が見られます。また、縦割り班(キッズグループ)の活動では、1年生を迎える会や田植え、稲刈り、縄跳び大会などを通して、仲間との絆を深めています。今年度、児童の自己肯定感の向上を目標に掲げ、児童一人ひとりが主体的に活動できる場面を増やしています。一日一日を大切に、竹原小学校のさらなる成長を念頭に、日々の教育活動に励んでいきたいです。

陸・海・空・宇宙のテーマパーク

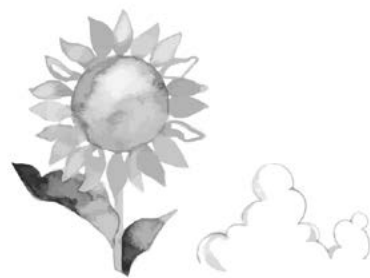
ユメノバ
下館ゴルフ倶楽部

板谷波山展
廣澤美術館

広沢商事株式会社
〒308-0811 茨城県筑西市ザ・ヒロサワ・シティ
TEL0296-45-5601 (観光部)

季節を詠む、
時流を詠む

四季の歌



美野里短歌クラブ

「耐えがたき忍びがたきを耐え忍べ」 天皇の声に国民は泣く
老い進み思い込みなど強くなり頭の切替え上手に出来ず
夕暮れに山裾を飛ぶムクドリは大きな群れで右へ左へ
ネモフィラの咲き乱れおる丘の上海が遠くに静かに見える
若葉道緑が遠く感じられ風受け歩むゆりりと歩む

小川短歌会

しばらくね雨降る一と日妹と笑っておしゃべり昔のように
衰うも好きな短歌に生かされてよくぞ永らえ九十五歳
バイトして手に入れた辞書青春期より机の上で活用している
しりとりを孫と言いいあうひととき語彙の豊かさ又知らされる
我が庭に凜として咲く半夏生^{はんげしょう}暑い暑さも素知らぬ顔で

玉里短歌会

霧雨の畑一面の葎の花風車のごと雨粒光る
海からの夕日背に受けモアイ像丘を見上げるその顔神秘
ひとしおの感動もちて『風立ちぬ』読み青春は遠く過ぎたり
ゆきずりの古寺訪えばしづまれる境内広くれば草咲く
色付きしビワの実とらんとはしごかけ朝日射す中ゆっくり登る

鶴	高	石	松	野	近	小	石	根	白	碓	宇	菱	信
町	田	橋	田	口	藤	野	田	本	根	谷	都	沼	田
文	久	吉	通	初	静	寺	は	智	清	き	和	清	正
男	子	生	喜	江	江	あ	江	恵	香	え	子	子	男
						や		子					

みづうみ俳句会

風薫る筑波嶺のぞみ立ちつくす
鶯のピュルリ歓喜の夏の声
七夕に願うは元氣笑う事
母の日やあの世の母にあれこれと
一日の疲れをいやす生ビール

みのり俳句会

水郷の船波に騒ぐ行々子^{ぎょうぎょうし}
夏茶会初の紗袷^{さあじ}目を見張る
ばあちゃんの外にずらつと梅を干す
落植えて箱庭狭くなりさうな
日照りも水の切れ目なき青田かな

櫂の会

たわむれに紫陽花すくふ花手水^{はなでうみづ}
稲佐山夜景とほうたる街^{まち}照らす
夏日差しガダルカナルの胡弓^{こきう}哭く
流れゆく昭和百年夏の雲
妙案はなけれど青田風わたる

くるみ俳句会

輕鴨の遊ぶ広田に風渡る
古新聞丸めて蠅^{はえ}を叩きけり
八十路にも想う事有り星祭り
カンパニウラ囲み句友と花談義
生垣の風に重たき凌霄花^{のうぜんかず}

たまり俳句会

「友情」の花言葉持つ薔薇黄色
時鳥東照宮の森深し
ママ友の一周忌なり虎が雨
冷やし酒友思ひつつ盃重ね
父の日や伝へたきこと多きまま

小美玉川柳会

我が孫は油断も隙もありやしない
相撲見る汗と技との砂かぶり
夫婦愛油断大敵最終章
力作に心の叫び見えてくる
二人なら緑のシャワー溺れたい

下	大	小	梶	川	れ	鶴	関	ま	小	松	安	堀	福	村	阿	矢	石	白	佐	岡	海	塚	長	長	長	長	三
重	盛	林	山	中	も	町	め	玉	玉	崎	原	内	島	田	代	口	田	根	藤	老	澤	田	島	島	島	島	村
悟	食	岳	の	の		文	千	知	知	淑	エ	昭	邦	妙	奈	富	敏	清	清	弥	宏	文					
史	堂	悠	平		ん	男	重	子	子	子	子	子	子	子	江	江	江	香	子	生	子	江	昭	美	江	子	子

茨城県知事選挙の投票日は9月7日(日)です

告示日:8月21日(木) 期日前投票:8月22日(金)～9月6日(土)

投票日時 **9月7日(日)** 7:00～18:00

■期日前投票

日時: 8月22日(金)～9月6日(土)
8:30～20:00

場所: 小美玉市役所本庁 1階
小川総合支所 1階
玉里総合支所 1階

■移動期日前投票所

投票者の利便性向上のため、移動期日前投票所を設置します。お出かけついでにぜひご利用ください。

設置日時・場所は
市ホームページまたは投票所
入場券をご確認ください。



ID 011752

■投票できる人

次の要件を満たし、小美玉市の選挙人名簿に登録されている方

- ・平成19年9月8日以前の生まれで、日本国籍を有する方
- ・令和7年6月1日までに小美玉市に住民登録の届出をし、引き続き3か月以上市内に住所を有する方

※本市への転入手続きを5月21日から6月1日までにいった方は、9月1日から期日前投票ができます。

※6月2日以降に県内の市町村から本市へ転入手続きをした方は、元のお住まいの市町村で投票をすることになります。投票には、市民課で発行(無料)する「引き続き県内に住所を有する旨の証明書」が必要です。

問 選挙管理委員会事務局(総務課内) ☎0299-48-1111(内線1274・1275)

新規就農を目指す3名が着任 地域おこし協力隊を紹介します

小美玉市初の地域おこし協力隊に、比嘉勇佑さん(写真左から2番目)、爲谷明代さん(同3番目)、八代秀明さん(同4番目)が着任しました。

3人は新規就農を目指し、農業経営に必要な知識や技術を習得しながら、市の農業や魅力のPRを行っていきます。活動の様子はInstagramで情報発信していきます。

詳しくはこちら▶

ID 011746



■地域おこし協力隊とは

都市地域の方を、人口減少や高齢化が進む地方に迎え入れ、地域の課題解決に向けた活動(地域協力活動)に従事してもらいます。活動を行いながら地域への定住・定着を図ることで、地域の活性化につなげていくことを目的とした全国的な制度です。

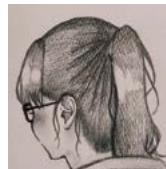
4コマ小美玉暮らし



Vol.56 「80年」



小美玉の日常をゆる〜く描く4コマ漫画。小美玉のクリエイターが3か月交代で担当します。



作者紹介 藤井 明音

趣味で絵を描いている学生です！3か月間、皆さんに楽しんでいただければ幸いです。

牛乳がいろんな人気商品に使われていることを知って、だから牛モチーフの物が多いのかと思いました。
(中央高校での小美玉市魅力探究授業の参加生徒より)

小美玉は今まで訪れる機会がなく知らないことも多かったけれど、これから高校に通う中で知っていけたらと思います。
(中央高校での小美玉市魅力探究授業の参加生徒より)



今は物価高の中、大変ご苦労されていると思いますが、少しでもご協力させていただきます。
大阪府50代(ふるさと納税応援メッセージ)

小岩戸にある「アトリエ・プティ・ボア」の米粉バウムMinoriz(みのり)がおすすめです。材料にこだわっており、他にもさまざまなお菓子が充実しています。人事課 新堀(入庁1年目)

広報 おみたま
令和7年8月号

編集・発行 小美玉市役所魅力発信課
TEL 0299-48-1111 〒319-0192 小美玉市堅倉835
FAX 0299-48-1199 https://www.city.omitama.lg.jp

